

認定看護師等による出前研修 受講アンケート調査結果

令和7年11月17日（月）14:00～15:00

看護小規模多機能ホームあおやぎ

研修メニュー：緩和ケア

1 あなたの職種は？

職種	人数
看護職	5
介護職	7
その他	1
計	13

※その他(ケアマネ)

2 研修内容は？

満足度	人数
満足できた	13
まあまあ満足できた	0
満足できなかった	0

理解度	人数
理解できた	13
まあまあ理解できた	0
理解できなかった	0

役立ち度	人数
役立つ	13
役立たない	0
わからない	0

3 今後、学びたい研修は？

(複数回答あり)

テーマ	人数
感染管理	0
皮膚・排泄ケア	5
摂食・嚥下障害看護	7
認知症看護	1
緩和ケア	1
救急看護	1
その他	0

◆受講報告書（代表者）◆

わかりやすい言葉、事例、図解、納得できるものが多く、家族の話を聞く、話を切り出すタイミングなど大切なことを学びました。家族に寄り添えるスタッフが増えることを期待したいです。

◆受講者の主な意見、感想など◆

○研修内容

・専門職と一般の方との死に対するギャップを埋められるよう、丁寧な説明ができるように努めたいと思った。たくさんの振り返りができたので実践していきたい。

・普段のケアでできているところ、できていないケアが明確になった。家族の話を聞くとこからコップの水を減らしていった次の段階に進めていけるようにしていきたい。何ができて、何が必要なのかを知ることができた。ギャップを埋めることがとても大事な。

・利用者や家族の気持ちに立ち返ることができた。家族への声掛けがわからなかったのを教えられたことを活かしたい。わかりやすい言葉で具体的な事例など、理解しやすく心に入りやすい内容だった。イメージしやすかった。説明の順序がとてもわかりやすかった。

・緩和ケアとは具体的に何を考え本人や家族にどう接していけばよいかを教えられた。どのようにして話を聞きだすのかのアプローチが大事なことだとわかった。観察ポイント、介護側のマインドセットの仕方など細かく聞いてとても満足。

・看取り時の症状やケア、ご家族への対応などとても勉強になった。今まで行ってきたことが蘇りました。身体の清潔保持、口腔ケア等の重要さがわかった。日頃過ごしている環境にも配慮したいと思った。居室の介護用品や軟膏の置きっぱなしが日常だったので気をつけたい。

・看取りの機会が増え不安な部分が多かったが「そうなんだ」と思えることが多く学びになった。スタッフ全員で今まで以上の看取りケアをしていきたい。亡くなった方の顔がそれぞれ浮かんできた。

・介護職は他の仕事より看取りの経験が多い立場だと改めて認識した。自分が家族だったら、もしくはケアを提供する側だったらと自分に置き換えて考えることができた。

・看取りについてご家族との考えの相違があった事例があり今後の参考にできるといった。本人の表情、眉間のシワ、心のコップ、とてもわかりやすく勉強になった。

○その他意見、要望等

・死期が迫っている場合、面会時間の融通性があってもいいと思った。老衰など余命がわからない場合の接し方も参考になったし考えていきたい。

・自身の家族の看取り経験の反省もあり今後活かしたい。コロナ時期の面会制限が悔しかったし心残りだった。